

2018年6月8日

エクソンモービル、TOYOTA GAZOO Racing への  
Mobil 1™のパートナーシップを延長



- Mobil 1のエンジンオイルは、2018-2019 WECスーパーシーズンでToyota TS050 HYBRID LMP1レース車両や2018 WRCでToyota Yaris WRCで採用
- Mobil 1は2015年以来、TOYOTA GAZOO Racingチームの公式エンジンオイル

世界をリードする合成エンジンオイルであるMobil 1™は、世界ラリー選手権(WRC)および2018-2019世界耐久選手権(WEC)スーパーシーズンに参加するTOYOTA GAZOO Racingの公式エンジンオイル、及び、技術パートナーとして引き続きチームをサポートします。

エクソンモービルのグローバルモータースポーツおよびスポンサーシップ担当マネージャーであるカイ・デッカー(Kai Decker)は次のように述べています。「エクソンモービルとトヨタは65年間にわたり、日々、クルマを運転される方のための高性能技術の開発と改良に協力して取り組んできました。エクソンモービルが、トヨタの最高級クラスの車両向けのエンジンオイルを継続的に開発・改良するにあたり、レースがひとつの実践の場となっています。今年の例年より期間が長いWECスーパーシーズンは、世界中のお客様に提供されるMobil 1製品のテストと開発の機会がさらに増しています。」

エクソンモービルの技術陣は、TOYOTA GAZOO Racingチームと密接に協力し、レース車両のあらゆる可動部分に触れ、摩耗を防ぎ、効率と性能を高める最新の潤滑剤技術の開発と試験を行っています。このコラボレーションはモータースポーツだけでなく、世界中で日常的に使用されている車両向けのMobil 1エンジンオイル、ギヤオイル、およびグリースの進化に貢献してきました。

トヨタのGAZOO Racing Companyプレジデントである友山茂樹氏は次のように述べています。「TOYOTA GAZOO RacingチームはMobil 1チームから引き続きサポートを得られることをうれしく思います。今シーズンのレース車両はさらなる耐久性が求められます。我々のレース車両が最高のパフォーマンスを発揮するよう、両社はレース場とラボの両方においてこれまで以上に密接に協力しています。シーズンを通じて、Mobil 1エンジンオイルがさらなる信頼性と性能面でのメリットを我々のレース車両のエンジンに提供することを確信しています。」

TOYOTA GAZOO Racingはトヨタ自動車株式会社のワークスチームであり、そのエンジニア、経営陣、および社員はレース車両開発とレーシングチームの管理と運営に直接携わっています。トヨタ自動車株式会社がレースに参加する目的として、開発、試験、技術の検証をすることが上げられます。レースから得たMobil 1技術の進化が一般車両に応用されているのと同様、トヨタのTS050 LMP1レース車両から得られたハイブリッド技術はトヨタプリウスの量産モデルに使用されています。

Mobil 1は革新的で、信頼性の高い高性能の潤滑剤開発において業界をリードしています。Mobil 1製品群にはエンジンオイル、トランスミッションオイル、ギヤオイル、グリースが含まれます。Mobil 1は世界の著名なモータースポーツチームの多くに使用されています。レースによって実証されたこれらの製品は業界の最も厳しい基準を満たし、従来のあらゆるオイルを上回る性能を示すと共に、世界をリードする合成エンジンオイルとしての地位を確かなものとしています。

### モータースポーツにおけるMobil 1

レースはMobil ブランドにとって、自社のオイルと潤滑剤の技術を改善するための究極の実験場です。各レースシーズンを通じ、弊社の最新鋭の製品はレース車両の性能と効率を高めています。Mobil 1™ エンジンオイルは世界最高峰のモータースポーツシリーズで競う、世界最高のレースチームの多くから選ばれています。レースへの参加から得られる知識は、Mobil 1 の研究者とエンジニアが技術を開発し、また常に限界を押し広げ続ける上で不可欠な役割を担っています。詳細については [www.mobil1racing.com](http://www.mobil1racing.com) をご覧ください。

### TOYOTA GAZOO Racing (WEC) について

トヨタは1982年に初めてFIA世界耐久選手権(WEC)に参戦し、これは長年にわたる耐久レースの初めての舞台となりました。1985年以来、トヨタの車両は19回のル・マン24時間レースに参加し、5回にわたって第2位を獲得しています。2012年には、ハイブリッドパワートレインを開発したトヨタ東富士研究所のノウハウと、シャシー開発に関するToyota Motorsport GmbHのサポートと施設を組み合わせ、復活したWECに参戦しました。このドイツのケルンを拠点とする多国籍チームにはトヨタのモータースポーツとハイブリッド部門からのエンジニアが含まれ、技術とノウハウを一般車の開発にフィードバックしています。トヨタは2012年以来15回にわたってポールポジションを獲得すると共に17回のレースで勝利を収め、表彰台に上った回数は42回に上ります。2014年にはTS040 HYBRIDによりドライバーズとマニファクチャラーズ部門のチャンピオンを獲得し、その翌年にはル・マン初参戦からの30周年を祝いました。Toyota Motorsport GmbHは、WECプロジェクトでの役割に加え、2017年のトヨタの世界ラリー選手権への復帰に際するエンジン供給や、エンジニアリングサービスと顧客のモータースポーツ活動などのその他の活動に携わっています。